**侍者社**

この小さな神社は、住吉大社の伝説的な初代社主である田裳見宿禰とその妻である市姫命を祀っている。四本宮に祀られている神様にお供えする神饌の準備が行われていた建物の中にある。侍者とは 「従者」 の意味であり、２文字の漢字の内の最初の文字は後に武士に使われ、さむらいと読まれるようになったが、おそらく神の使いとしての田裳見宿禰の職務を意味していると思われる。

この神社は縁結びや夫婦円満を求める人に人気がある。恋愛成就の願い事を書くための小さな木製の板 (絵馬) と、ロマンチックなお守りの土人形が授与されている。人形には裸雛と呼ばれている一対の裸の夫婦の人形がある。二体の人形は何の秘密も持たない理想的な夫婦関係を表している。